

令和2年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修
(女性関連施設・地方自治体・団体)」オンデマンド版開催要項

1. 趣 旨

男女共同参画社会の形成を推進するため、地域における男女共同参画の推進者を対象として、知識・企画力・実践力を養うための高度で専門的な研修を実施します。

参加者は、男女共同参画の基本理念について改めて学ぶとともに、喫緊のジェンダー課題に関する最新情報や取組事例、国の施策についての最新動向等を情報共有します。また、全国からの参加者との情報交換を通じ、現状把握と課題解決のヒントを得ます。

今回は、ジェンダー主流化の観点から地域の取組基盤づくりに焦点をあて、多様な主体との連携や有効な情報発信のあり方など、男女共同参画推進の駆動力を上げる具体的な方策についても考えていきます。

2. テーマ

取組を加速する地域基盤づくり

3. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724 FAX 0493-62-6720

URL <https://www.nwec.jp> Eメール progdiv@nwec.jp

4. 実施方法及び期間

(1) 配信期間 令和2年5月20日(水) 9:00 ~ 29日(金) 17:00

(2) 方 法 参加者と公開期間を限定したYouTube (NWEC Channel) の動画配信によるオンデマンド研修

※インターネットに接続できるパソコン環境(タブレット、モバイル端末も可)が必要です。
YouTube視聴のために特別なアカウント登録などの必要はありません(ただし、通信料はご自身の負担となります)。公開されている動画は、期間中、参加者の都合に合わせていつでも視聴することができます。

(3) 研修の流れ

申込	・～4月24日(金) 17:00 申込締切
参加者決定	・5月1日(金) 参加の可否を電子メールまたは文書で通知
事前学習受講	・参加決定通知後、受講案内を電子メールで通知 ・5月8日(金)～29日(金) 期間中に受講
研修	・5月18日(月) YouTube動画限定公開URL通知 ・5月20日(水)～29日(金) 各講義URLより動画を視聴
アンケート	・5月29日(金) アンケートフォームより回答

5. 対象及び定員

地域でリーダーとして男女共同参画推進の実践的な取組を行っている方（※1）で、期間中に全ての動画を視聴し、研修終了直後のアンケートと6か月後に実施するフォローアップ調査の両方を提出可能の方 100名程度

※1：具体的には以下の職務にある方

- ・女性関連施設（公私立の女性／男女共同参画センター、女性会館、働く婦人の家等）の管理職・リーダー 等
- ・地方自治体の男女共同参画推進責任者 等
- ・地域で男女共同参画を推進する団体等の役員・リーダー 等

※2：先着順ではありません。応募多数の場合は、これまで参加が少ない地域の方、管理職の方、初回及び参加回数の少ない方を優先します。なお、参加者決定に関する個別のお問い合わせには一切お答えできませんので、あらかじめ御了承ください。

6. 内 容

事前学習

参加決定後、本研修の参加前までに、男女共同参画の基礎知識を学ぶためのeラーニング講座を受講していただきます（総学習時間1時間程度、受講料無料）。また、基調講演に関わる事前課題（御所属または在住の自治体の防災対策等について調べ、シートに記入）もあります。受講手続や記入シートなどの詳細は、参加通知にてお知らせします。

オンデマンド研修

（1）開会（10分）

- | | | |
|----------|-------|------------------------|
| ①主催者あいさつ | 内海 房子 | 国立女性教育会館理事長 |
| ②来賓あいさつ | 文部科学省 | |
| ③来賓あいさつ | 納米恵美子 | 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事 |
| ④趣旨説明 | 櫻井 雅美 | 国立女性教育会館事業課専門職員 |

（2）基調講演「男女共同参画が地域を持続可能にする」（60分）

今年、2003年に内閣府・男女共同参画推進本部が「社会のあらゆる分野において指導的位置に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする」と定めた目標の年（「202030」）。しかし、昨年末世界経済フォーラムから発表された男女平等度ランキングで日本が121位と過去最低記録を更新した大きな要因は、意思決定の場における女性の圧倒的な少なさにありました。男女共同参画社会基本法の制定から20年以上が経ち、近年では女性活躍推進と謳われながらこの停滞ぶりはなぜなのか、ここからどのような手を打っていけばよいのか、そして男女共同参画の実現が導く社会の豊かさとは本来どのようなものなのか。防災分野における地域での具体的な取組を切り口に考えます。

講師：大沢 真理 東京大学名誉教授

（3）情報提供「男女共同参画社会に向けた今日の政策課題」（60分）

男女共同参画や女性活躍推進に向けた国の最新施策についての説明を受け、今後の方向性について理解を深めます。

- ① 内閣府男女共同参画局

- ② 厚生労働省
- ③ 農林水産省

(4) 情報提供「ジェンダー平等に係る国際的な動向について」(20分)

国連女性の地位委員会(CSW)や持続可能な開発目標(SDGs)等、国際社会におけるジェンダー平等推進の取組を紹介します。

報告者：越智 方美 国立女性教育会館研究国際室専門職員

(5) 講義「男女共同参画推進のプラットフォームをつくる」(60分)

男女共同参画を地域に根づかせ、取組を広げていくためには、多様な主体との連携協働が欠かせません。市民力を育て、官民をつないで、多様性が生かされる地域づくりに携わってこられた講師から、地域資源をどのように掘り起こし、意識変容とアクションにつなげていくのか、その視点と取組のポイントについて学びます。

講師：萩原 なつ子 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授
立教大学社会学部教授

(6) パネルディスカッション「関心を呼び起こす情報発信とは」(90分)

男女共同参画に関わる情報を、若い世代、男性等これまで関わりの薄かった層に届け、関心を引き起こすためにはどのような工夫が考えられうるのでしょうか。各メディアで新しい試みを始めている方々と、効果的な情報発信の方法について考えていきます。

パネリスト：安田 達一郎 NHK報道局社会番組部チーフ・プロデューサー
松尾 亜紀子 エトセトラブックス代表 編集者
コーディネーター：浜田 敬子 Business Insider Japan 統括編集長

(7) 意見交換「男女共同参画の推進にあたり、ダイバーシティの流れとどのように向き合うか」(20分)

ダイバーシティ推進の大きな動きの中で、様々な場面において男女格差の是正の重要性をきちんと理解してもらい、多様な市民と目標を共有することに難しさを感じることはありませんか。例えば、調査時に性別を問うことに対する批判や、「女性優遇は男性差別」「今さら女性・男性で二分するのはおかしい」といった意見に対して、私たちはどのように対応していくとよいのでしょうか。迷ったり、困ったりしている現状について、まずはみなさんで共有しませんか。

発題：飯島 絵理 国立女性教育会館研究国際室研究員

(8) アンケート記入

7. 申込方法等について

- (1) 申込方法 申込フォーム：令和2年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修」
(<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pakg-lbsapj-b555b332b25a6003afb8d075261cac6e>)からお申込みください。

*申込フォームから送信ができない場合は、参加申込書に必要事項を記入の上、事業課あてに郵送ください。

開催要項、参加申込書等は、ホームページからダウンロードできます。

*送受信の行き違いや受信もれを防ぐため、FAXは不可とさせていただきます。



- (2) 申込期間 令和2年4月1日(水)～24日(金) 17:00必着
- (3) 参加通知 別紙記載の連絡先に5月1日(金)に電子メール又は文書によりお知らせします。
*5月1日(金)を過ぎても連絡が来ない場合は、事業課までお問い合わせください。
(電話:0493-62-6724 平日9:00~17:00)
- (4) キャンセル 参加決定後にキャンセルされる場合は、必ず事業課まで電話にて御連絡ください。
【キャンセル可能期間】5月1日(金)～13日(水) 17:00
*キャンセル待ちで参加可能となった方には、5月1日(金)～14日(木)の間に御連絡します。
*5月11日(月)は休館日のため、すべての情報提供サービスを停止します。

8. フォローアップ調査の実施

研修終了6か月後を目途にフォローアップ調査を実施します。実際の職務や活動に、研修成果がどのように役立てられているかについて伺うものです。御協力をお願いいたします。

*本研修は、第6回WAW!/W20 シャイン・ウィークスへのイベント登録をしています。